

映像と写真・雑誌にみる 戦前から戦後の日本

開催趣旨

このたび昭和館では、「映像と写真・雑誌にみる戦前から戦後の日本」と題して映像・写真・雑誌展を開催する運びとなりました。

昭和館は開館以来、戦中戦後の国民生活に関する映像・写真・図書雑誌資料を多数収集し、特別企画展や「昭和の日」前後の特別上映、資料公開コーナーなどにおいてこれらの資料の一部を公開してきました。

今回は、近年新たに入手した戦前の子供ニュース映画と戦中戦後をテーマとした劇場映画(ビデオ)の上映、資料公開コーナーにおいて展示してきた写真や雑誌資料を公開することでこれまでの総集編とし、開館 10 周年記念の上映・展示といたします。

記

- 【主催】 昭和館
- 【会期】 平成21年4月25日(土)から5月10日(日)
- 【会場】 昭和館3階 特別企画展会場
- 【入場料】 無料(常設展示室は有料)
- 【開館時間】 10:00~17:30(入館は17:00まで)
- 【休館日】 4月27日(月)、5月7日(木)
- 【所在地】 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
- 【交通(電車)】 地下鉄【九段下駅】から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線4番出口)
J R【飯田橋駅】から徒歩約 10 分
- 【交通(車)】 首都高速西神田ランプから約1分
- 【ホームページ】 <http://www.showakan.go.jp>
- 【その他】 有料駐車場有り(普通乗用車のみ・1 時間 200 円)
団体予約承ります

問い合わせ 担当 TEL(直) 03-3222-2574 FAX 03-5216-3152

第1会場 ニュース映画

こちらの会場では、「ニュース映画」を通して当時の世相を紹介します。家庭にテレビが普及していなかった頃、人々は映画館で上映されていたニュース映画を視聴していました。

戦前のニュース映画として、近年入手した「アサヒホームグラフ」や「アサヒコドモグラフ」を紹介します。子どもたち向けに制作された作品で、映像がまだ珍しかった当時、子どもたちに大人気だったことでしょう。

戦後の作品については、昭和30年代以降の日本の三大イベントともいえる「ご成婚」「東京オリンピック」「大阪万国博覧会」のニュース映画を上映します。



「アサヒホームグラフ」50号
「日本の空を皆で護らう」



「アサヒコドモグラフ」
オープニング映像



「毎日ニュース」515号
「東京オリンピック花やかに開幕」

第2会場 写真・雑誌資料

昭和館では、映像資料のほかに、当時の世相や町並み、人々を写した写真や当時の雑誌も多数所蔵しています。こちらの会場では、当館 1 階ロビーで開催している「資料公開コーナー」で紹介した所蔵資料の中から、特に人気のあったものを紹介します。

写真資料は石川光陽撮影の写真とアメリカ国立公文書館提供の写真を中心に、戦前から戦後の日本の様子や当時の人々の姿をとらえたものを紹介します。雑誌資料は、当時の子どもたちに大人気だった「少年倶楽部」や「少女倶楽部」、女性誌の草分け的存在であった「主婦の友」、野球少年が夢中で見入った「ベースボールマガジン」など、懐かしい雑誌の数々を紹介します。



「東北の表玄関 上野駅」
(戦前 石川光陽撮影)



「西に東に流されていく罹災者」
(浅草雷門前にて)
(昭和20年3月10日 石川光陽撮影)



「少女倶楽部」昭和13年3月号
「少年倶楽部」昭和20年11・12月合併号
「婦人倶楽部」昭和15年6月号